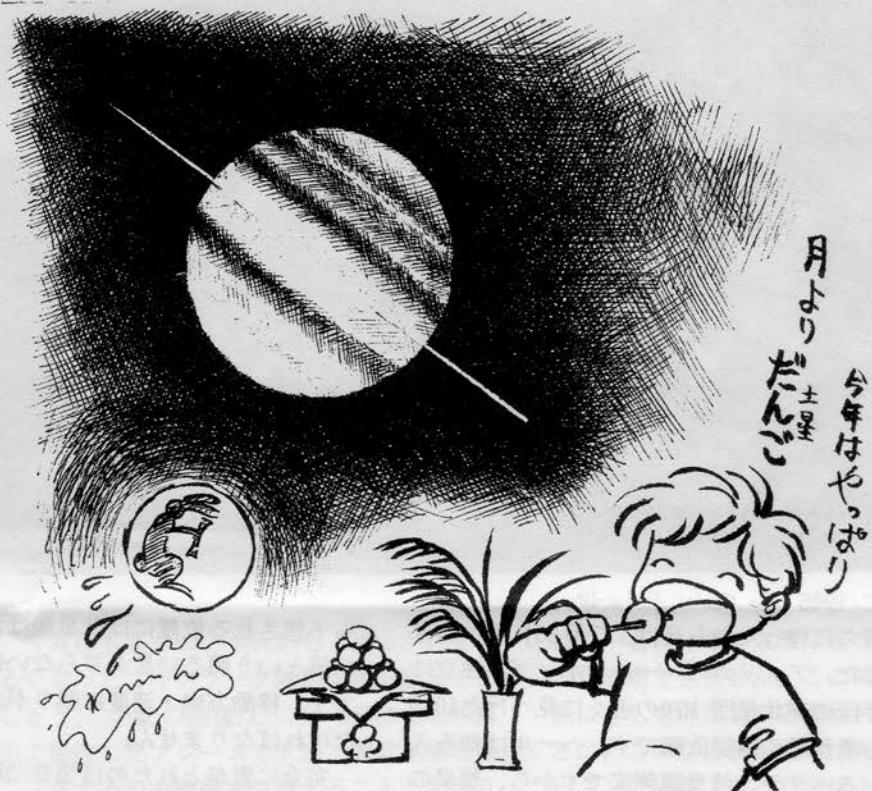


星屑

VOL. 246

September '95



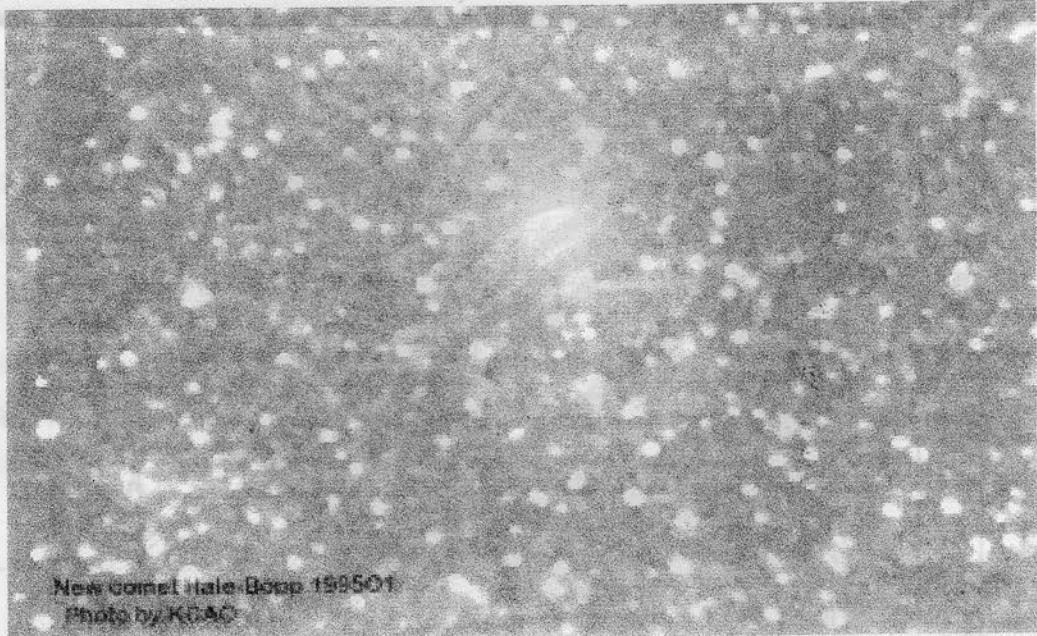
熊本県民天文台

CCDの窓

COMET PAGE

PORCO NISSE

1月初旬の新彗星 1995 A1以来ぱたりニュースの途絶えていて彗星界でした。おかげで、KCAOネットに開設した「J'sRoom」も開店休業の状態で、ちっともニュースが載らないじゃないかとお叱りを受ける始末。でも、ご安心ください。半年間のお待たせでした。すばらしい大彗星出現のお知らせが山ほど掲載されています。パソコン通信できる方は、最新情報を KCAOネットでご覧ください。ここでは書けない詳しい情報が随時公開されています。また、INTERNETのKCAOホームページには、最新の CCD観測画像が公開されています。



△ C/1995 01 Comet Hale-Bopp

待ちに待った知らせは、7月23日朝に届きました。アメリカのヘールとボップが独立に射手座の球状星団 M70の近くに見つけた10.5等の新彗星の確認依頼です。ヘールは知る人ぞしるベテラン彗星観測家ですから、彗星の実在は間違いないと判断されたのでしょう、すぐに 199501 の彗星符号が与えられました。さて、24日夜は九州の西を通り過ぎた台風3号の影響で雲の多い天候でした。でも、ところどころ星が見えていたので、CCDを冷やしつつ待機しました。わずかな雲間から撮影したフレームには、期待に反して発見観測か

ら予想される位置には彗星像はありません。10等という明るい星が写らないはずはないのです。移動方向・速度に誤りがあると判断しなければなりません。

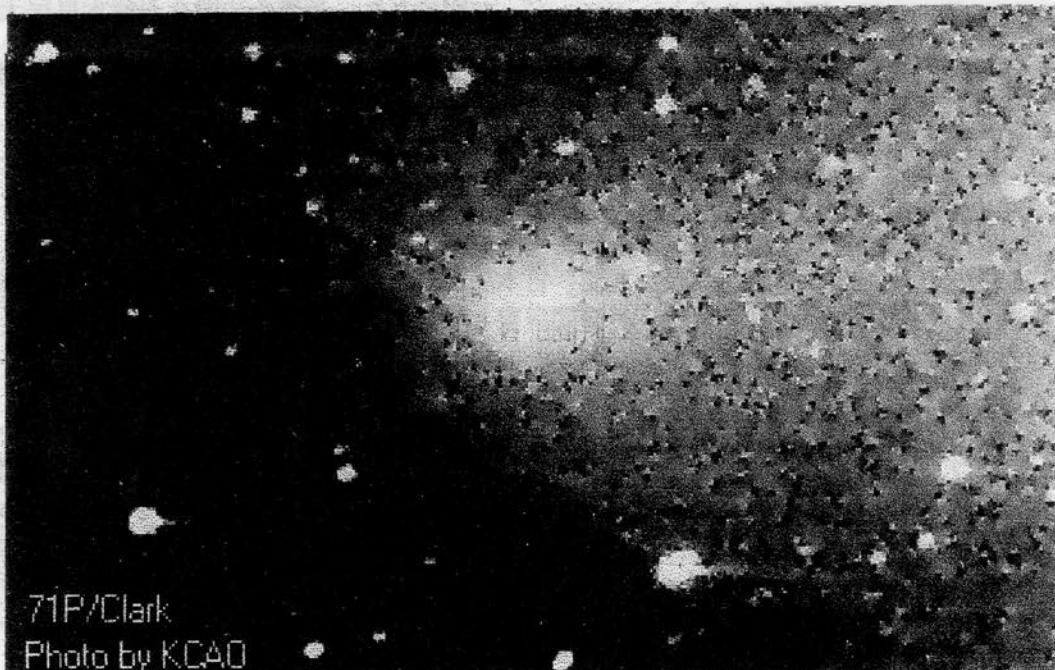
完全に雲がとれたのは翌日 2時になっていました。12x8' の狭いCCDの視野に彗星が入った時には、既に41cmの半分は観測室の壁に隠れていきました。最初の観測はこうしてぎりぎり間に合いました。上図はこの時の画像です。お分かりのように彗星は恒星に接近していて、精測位置測定には難儀しました。たとえ「観測精度が悪い」と一言で片付けられても、そ

こには色々な条件下で仕方ないことも多々あるのです。

幸いにも24, 25, 26, 27, 28日と5夜連続晴れたので、毎晩観測できました。しかし、移動が変です。10等という明るさにしては移動が小さいのです。特殊な位置関係を除くと、明るい星ほど大きく動く、つまり地球に近いといつて良いのです。この星の動きは木星より遠くにいることを示していました。それで明るさが10等なんて、誰が考へてもおかしいですよね。でも、でも、それが真実であれば大変です。そうです、この星は、実は標準等級

が-2.5等(あのハレー彗星が6.5等)という巨大彗星だったのです。文字通り「今世紀最大の彗星」が出現したのです・・・現在の光度がまともであれば、この星は1997年には北の空に1等級以上の明るさで輝くはずです。ただし、今の光度が突然的なバーストで一時的な増光でなければの話です。

来月になれば、彗星の動きも長くなりますから、軌道もかなりの精度で確定されるはずです。この巨大彗星の詳しい情報をこのページで紹介できることでしょう。楽しみにお待ちください。



△71P/Clark
Photo by K.CAO

△71P/Clark

今月はもう一つ、6月から7月にかけて明るくなった71Pクラーク周期彗星を紹介しましょう。上記の画像は、7月8日に240秒露出で撮像したフレームですが、西に見事な尾が存在するのが画像を処理することでわかります。

この彗星は、その軌道から南で明るく見える特徴があり、北半球ではあまり良い条件で観測することができません。それで、話題にのぼることも少ないので、南までよく見える条件の良い日に観測すると、上図のよう

に思いもかけない立派な姿が見えたりしますから油断できません。この時の全光度は9等級に達していたものと思われます。残念なことに、このころ我が国ではちょうど梅雨のシーズンで観測できる日がほとんどなくて、上図の姿の消長を知ることは出来ませんでした。

この星は、既に近日点を通過しているのでこれ以上明るくなりませんが、今でも11等前後で県民天文台の41cm鏡で見ることが出来ます。もちろん、赤緯が-40度という低さですが・・・

1995/08/01

県民天文台とインターネット

新しい世界への窓を、のぞいてみませんか？

艶島 敬昭

「インターネット」。今年の総会でも話題になりましたし、最近の新聞や雑誌で頻繁にその名前を聞くことでしょう。

春の彗星会議の頃まで、熊本に住む私にとって、それは、のぞいては見たいがとても手の届きそうにない、遠いあこがれの世界でした。渡部潤一氏に観測結果をインターネット上に公開するように、とすすめられても、どうすれば実現できるのか悩むばかりでした。

ところが、九大の山岡氏のアドバイスに従ってあちこち相談したところ、あっと言う間に目の前に「インターネットの世界」が開けてしまったのです。

5月19日、天文台の「ホームページ」が開設され、世界中の誰もが熊本県民天文台とその活動を知り、そして、私たちの観測した画像を見ることができるようになりました。世界の情報を居ながらにしてのぞける、利用できる、といわれていますが、実は、とても簡単に、世界に向かって情報発信ができてしまうのです。

火星食やメキシコ皆既日食、そしてSL-9の画像、天文台の外観と望遠鏡の紹介などを載せたホームページの最後の行に、「感想を電子メールで送って下さい！」と書きました。私の予想に反して、最初のメールは「フランス」から、すぐにやってきました。

しばらくの間、英語、フランス語、日本語混じりの不思議なメールが、フランスとの間を飛び交うことになり、私は、長時間辞書とにらめっこする毎日を過ごしました。本当に世界に開かれた、「ネットワークのネットワーク」だったのです。

続いて、守岡君、塩屋君など、熊大生時代に運営委員をつとめ、巣立っていったメンバーからのメールが届き始めました。懐かしさと、驚きと、今後へのアドバイスに満ちたメールに触れ、思い切ってホームページを開設して良かったと思い、また、もっともっと、期待に応えるよう進化しなければと思いました。「天文台の楽しい雰囲気をもっと伝えて」という声は、何よりの応援です。

幸い、電応研の中島・上妻の両研究員の熱心な応援やご協力があり、順調にホームページのアップデートもできています。

すでに、大幅に構成を刷新しました。電話回線から接続してくる、個人的な利用者のために、きびきび動くページ構成に変えました。火星食のビデオから作ったデジタル動画画像も載せました。生々しい彗星の観測画像も、小林J副台長の協力ですぐにホームページを飾ります。「得意の借り物競走」で開設できたホームページですが、オリジナルな情報を満載した、ユニークなものへと着実に進化しています。

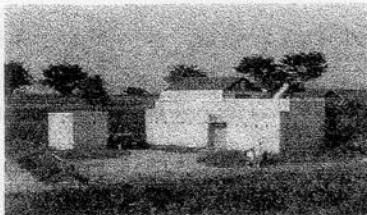
さて、問題は熊本在住の会員で（ほとんどがそうだが）インターネットのホームページを見ることのできる環境の人が、ほとんどいないということです。

8月5日の流星観測会では、天文台からインターネットに接続して、県民天文台のページを出発点に、NASAのホームページへ行って、アポロ計画のページを探索し、貴重な月面の画像をダウンロードしました。これをパソコン上で眺めていると、まるで月軌道を周回しているかのような気分を味わうことができます。（大勢で楽しみました）

この秋、熊本にアクセスポイントが開設されるインターネットサービスに、加入しようと意見がまとまったのも、当然の成り行きかも知れません。

県民天文台とインターネット 「ホームページ」

熊本県民天文台のホームページへようこそ



ENGLISH

最近の観測画像 (1995. 8. 8更新)

- 一般の方に公開している、とてもユニークな、アマチュアの天文台です

「熊本県民天文台」という名前と活動から、県立の立派な施設を連想されるかも知れませんが、熊本の星好きなメンバーが集まったアマチュアの同好会です。同好会なのになぜか天文台を持ち、晴れた夜には毎晩、一般の方に星空を楽しんでいただくという大それた事を続けています。

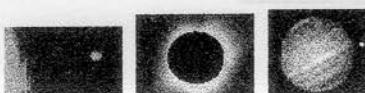
お金はないけれど、皆さんと一緒に「星の世界」を楽しむのが大好き。
今回も、どうせ楽しむなら「ぜひ！時代の波の先端で」と、電子応用機械技術研究所、
熊本県工業技術センター、(株)九州コムネット、のご協力を得てホームページを開設。
インターネットを使った、アマチュア天文台の一般公開にチャレンジします。
私たちが楽しんでいる「星の世界」を、貴方にも楽しんでいただければ幸せです。

では、熊本県民天文台へご案内しましょう。

- 熊本県民天文台という団体と、天文台について
- 星空を見たくなった時、天文台に行くには
- ここには、銀色のドームはありません
- こんな望遠鏡です
- 何が見えますか？ どんな解説ですか？ 入場料は？

天文現象の画像集

1. 現象ごとにまとめたページ



- 火星食
- メキシコ皆既日食 1 コロナとプロミネンス
- メキシコ皆既日食 2 皆既中の暗さ、と観測チーム
- SL9彗星の木星衝突

2. 見出し で画像を探すページ

動画のページ

- 動画で見る天文現象のページ

ほかのサーバーへのリンク

- ASAHHINETの木星画像
- ASTROARTS 7月の天文現象
- HIRAISO 太陽研究所
- NASA の天体画像

ご感想を下記アドレスまでEMAILにてお寄せ下さい

より充実したホームページにする予定です。

“T. TSUYASHIMA” <PXX05553@niftyserve.or.jp>

最近の画像 (Aug. '95)

ヘル・ボップ周期彗星

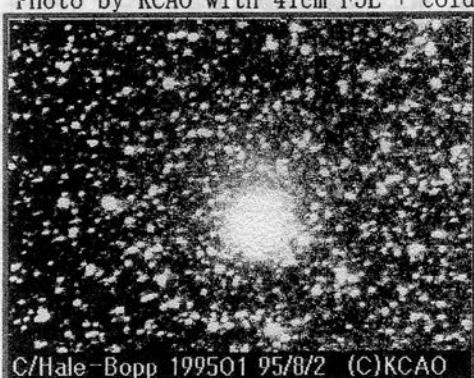
彗星観測家の間で、今世紀最大の彗星か？と騒がれているヘール・ボップ彗星の最新画像(C/1995O1)の最新画像(95-08-02/JST)です。

銀河に近いので、微光星が多くて、まるで球状星団のように見えますが紛れもなく巨大な彗星です。木星と土星の間にあって、すでにコマ（薄く北側に拡がっている）は3分角もありますから、その大きさには驚くばかりです。

彗星よりも地球に近い位置にある巨大惑星・木星の視直径でさえ、わずかに45秒角ですからねえ。このまま明るくなることを期待しましょう。

近日点通過は、1997年4月頃になりそうです。

KCAOではこれからも隨時この彗星の観測画像を掲載する予定です。
Comet Hale-Bopp C/1995 01 1995-08-02 22h45m JST exp. 360sec.



注) 彗星は中央の丸い光体です。

[最近の画像のページへ](#) . [ホームページへ](#)

原稿集め、編集、印刷、という行程に縛られないで、隨時情報発信ができるのがすごい！ しかも、紙への印刷と違い画像の品質が良好です

自分たちさえ納得していれば、再利用可能な状態で、画像を配信できます。

このへんは、印刷予算に限りのある「星屑」ではまねのできないデジタル・データの良いところです。

誰でも、マウスでクリックすれば、好きなページを開けることができ、気に入った情報や画像を手に入れることができます。今では、私たちも情報発信者の仲間入りを果たしたわけです。

~'95年7月天文台運営日誌より~

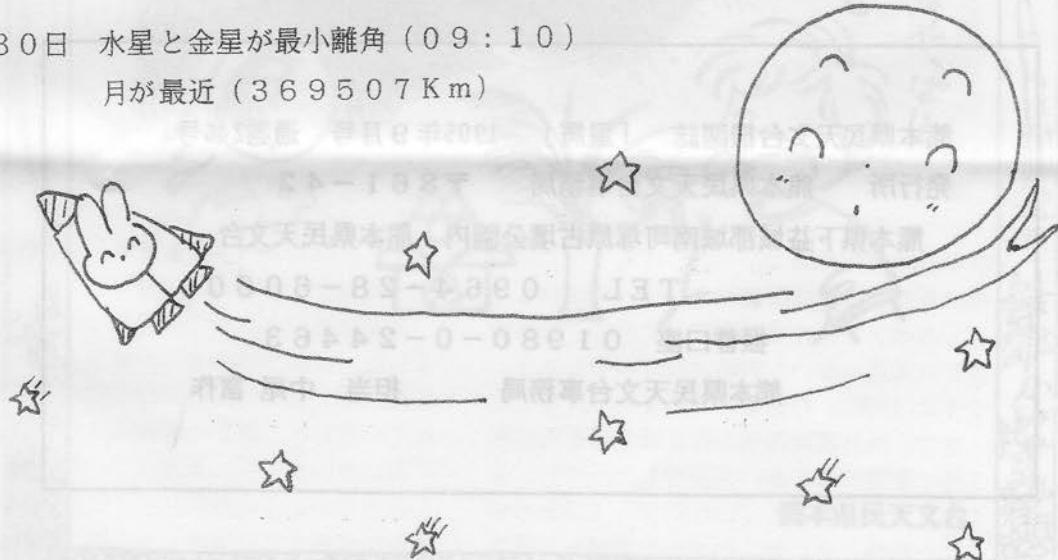
・開台率: 13日 / 26 = 50 (%)

・来台者数: 289人(お客様) + 16人(会員利用者) = 305人

日付	天気	来客数	運営	記事〔会員利用者〕(日誌記入者)
7日(金)	晴 ひや	122人	中島、山口 西嶋、国吉 松野、艶島	木星、月、アンタレス、M4、M7、アルビレオ 久しぶりの晴れまで、しかも7.7.7(平成7年7月7日)、ものすごい人出でした。 Seeing良好(星が揺らめかずにシャープに見えること)。雲の間際の木星が素晴らしかった。 [小林]、中島、中尾](西嶋)
8日(土)	晴	38人	山口、町田 艶島	木星、月、アルビレオ、アルタイル、アンタレス、M22 大赤斑が見事だった。 [佐伯君とその仲間](艶島)
9日(日)	晴	13人	艶島、小林 小林M、甲斐	木星、月、アンタレス、M7、M22 昨日に続く好シーイング。2~3年の中でトップレベルの見え 味。 運営後、木星をCCDで撮影 (甲斐) (艶島)
12日(水)	曇 ひや	0人	小林]、艶島	運営終了後の22時頃にやって来て、木星、土星、月、M31、 M27、M57、M3等を目標に、好き勝手に写真を撮る。シーイン グは最高クラス。ただ満月が恨めしい。 [宮崎、吉岡、薮田](薮田)
13日(木)	晴	11人	中尾、山本 磯田	木星、アンタレス、月、アルビレオ、M4 今日のお客さんはマナーがよかったです。空の状態はさほど良くは なかったが、木星がきれいでした。 [小林](磯田)
14日(金)	曇	0人	中島、西嶋	雲の切れ間の木星がちょっとだけ見えました。 江南中保護者会より問い合わせの電話有り。 [艶島](西嶋)
15日(土)	晴	15日	松野、艶島 木村	今日は薄い曇りで少々見づらかったが、10時頃月が出て来た が、大気も安定し、木星の縞も10本ほど見えた。 ダブルダブルスター、木星、M4、ミザール、アルコル、 アンタレス、月 (木村)
16日(日)	曇	2人	艶島	雲の切れ目に木星が見える。でも夕方から曇りで、にわか雨も 降ったので、お客様も終了間際にみえたカップル1組だけ。 木星、M4、アルビレオ (艶島)
18日(火)	晴	0人	岩永、薮田	木星、M13、M57、M29、アルビレオ やっぱり誰も来ないのだ。来週は誰かくるだろう。 [野田](薮田)
24日(火)	曇 ひや	1人	松野、岩永 薮田	木星、花火。(この日は近くでお祭りがあっており、花火が天 文台からも見えた) 今週はお客様がみえた。 [小林](薮田)
27日(木)	曇	2人	長谷、山本 磯田	郵便2通 夕方は晴れていたのに・・・ [小林](磯田)
28日(金)	曇 ひや	7人	中島、西嶋 中尾	木星、M57、デネブ。 曇りのためによく見えない。 新彗星の観測 [小林](中島) (小林)
29日(土)	曇 ひや	65人	木村、松野 中島	木星、ベガ、www 寄付金: 城南こばと保育園様、江南中学校様。 ありがとうございました。 (松野)
30日(日)	晴 ひや	13人	艶島、小林 甲斐	木星 夏休みだというのに、お客様は少ないし、来てもすぐに帰っ てしまった。遊び疲れたのだろうか? [小林]、木村](甲斐)

☆ 9月の天文現象＆行事 ☆

- 1日 二百十日
- 2日 上弦（18:03）
- 5日 月の距離が最近（367906Km）
- 9日 中秋の名月 満月（12:35）
水星が東方最大離角（26°58'，4°）
- 11日 トーキアバウト
- 15日 土星が衝（光度0，7等）
- 17日 下弦（06:09）月が最遠（404258Km）
- 20日 彼岸の入り
- 22日 水星が留（15:20）
- 23日 秋分の日
- 25日 新月（01:55）
- 30日 水星と金星が最小離角（09:10）
月が最近（369507Km）



お知らせ

以前お知らせしたと思いますが、9月1日から一般公開の曜日が変更になります。一般公開の曜日は週末の、金・土・日の3日間です。勿論、雨や雲が1／2以上の日は、お休みです。なお、他の曜日は会員の為の勉強会や、観測会に充てて行きます。

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1995年9月号 通巻246号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-42

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作